

大政奉還 150 周年記念 幕末サミット 二条城宣言

わが国は、幕末から明治にかけて、世界の混迷する潮流の中で、多くの先人たちの尊い志と行動により近代化の道を歩み発展してきた。

今、わが国は、人口減少、少子高齢化等が深刻化し、都市の活力・持続性などがこれまでにない危機に直面している。

これらを克服し、持続可能で希望に溢れた都市と日本を展望するためには、私たちが幕末維新の先人たちの精神と行動に学び、地域や立場、あらゆる違いを越えて、相互の文化交流を通じて、未来に活かすことが必要である。

都市は、自由に交流することで優れた文化を創造し、固有の崇高な理想を実現することができる。そして、その実現がわが国の未来と世界平和への貢献につながる。

大政奉還 150 周年記念幕末サミットでは、歴史に学び一層の文化交流を通じて、個性を発揮し、各々の持つ強みを活かし、来る明治 150 年、また未来に引き継いでいくことが重要であると確認した。

大政奉還 150 周年の記念のこの日に、「歴史に学び、地域でつながり、未来に活かす」というテーマを掲げ、相互に連携し都市の理想の実現を目指すことを宣言する。

平成29年10月13日

会津若松市
品川区
日野市
福井市
上田市
静岡市
桑名市
大塚市
和歌山市
高梁市
福山市
下関市
萩市
宇和島市
高知市
長崎県
熊本市
鹿霧市
京都府

勝健彦
藤野冬真
藤野真一
濱坪村袋
大北母田
水谷正隆
荒竹宏隆
近藤藤彰
佐藤木潤
三藤道健
岡原文誠
岡崎博浩
中植松永村
松村川大